

85. 藤由崇之, 山崎正志, 小西宏昭, 大河昭彦, 蓮江文男, 田中正, 高橋和久: 頸椎後縦靭帯骨化症 K-line(-)例に対する後方除圧固定術の成績. *J Spine Res* 1: 1797-1800, 2010.
86. 新靱正明, 政木豊, 大河昭彦, 山崎正志: 前方椎弓根スクリューを用いた多椎間頸椎前方除圧固定術における骨癒合過程と合併症. *J Spine Res* 1: 1818-1821, 2010.
87. 木内均, 古矢丈雄, 大河昭彦, 藤由崇之, 川辺純子, 山内友規, 林浩一, 高橋和久, 山崎正志: 広範囲後方要素切除により後方進入法で摘出を行った胸髄腹側髄膜腫の1例. *関東整災誌* 41: 396-401, 2010.
88. 金塚彩, 佐久間毅, 高橋宏, 林浩一, 橋本光宏, 大河昭彦, 喜多恒次, 高橋和久, 山崎正志: 頸椎椎弓形成術後に骨化が増大し手術を要した胸椎後縦靭帯骨化症の1例. *関東整災誌* 41: 289-293, 2010.
89. 佐久間毅, 山崎正志, 国府田正雄, 高橋宏, 加藤啓, 林浩一, 橋本将行, 橋本光宏, 大河昭彦, 高橋和久: 脊柱靭帯骨化症に伴う脊髄障害性疼痛に対し顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)が著効した2例. *千葉医学* 86: 185-189, 2010.
90. 佐久間毅, 山崎正志, 国府田正雄, 高橋宏, 加藤啓, 林浩一, 川辺純子, 藤由崇之, 古矢丈雄, 山内友規, 門田領, 宮下智大, 萬納寺誓人, 染谷幸男, 西尾豊, 鎌田尊人, 腰塚周平, 池田修, 安宅洋美, 蓮江文男, 吉永勝訓, 村田淳, 花岡英紀, 橋本将行, 橋本光宏, 大河昭彦, 高橋和久: 圧迫性脊髄症急性増悪期例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法: Phase I/IIa 臨床試験. *千葉医学* 86: 233-239, 2010.
91. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 橋本光宏, 林浩一, 佐久間毅, 川辺純子, 藤由崇之, 古矢丈雄, 山内友規, 門田領, 宮下智大, 萬納寺誓人, 染谷幸男, 西尾豊, 鎌田尊人, 腰塚周平, 池田修, 喜多恒次, 青木保親, 吉永勝訓, 村田淳, 高橋和久: 急性脊髄損傷に対して顆粒球コロニー刺激因子(Granulocyte colony-stimulating factor: G-CSF)投与による神経保護療法を施行した6症例. *千葉医学* 86: 175-183, 2010.
92. 加藤啓, 清水純人, 佐藤正樹, 染谷幸男, 山崎正志: 急性四肢麻痺および呼吸麻痺により発症した頸髄神経鞘腫の1例. *千葉医学* 86: 111-114, 2010.
93. 山本陽平, 山崎正志, 大河昭彦, 大島精司, 古矢丈雄, 藤由崇之, 川辺純子, 山内友規, 林浩一, 今牧瑞浦, 東出高至, 荒木千裕, 谷澤徹, 梁川範幸, 川名秀忠, 石井猛, 高橋和久: 第5腰椎神経根から発生し巨大後腹膜腫瘤を形成した砂時計型富細胞性神経鞘腫の1例. *千葉医学* 86: 105-109, 2010.
94. 大前隆則, 山崎正志, 大河昭彦, 藤由崇之, 高橋和久, 村上正純: 特発性脊髄ヘルニアの1例. *整形外科* 61: 628-632, 2010.
95. 佐久間毅, 山崎正志, 国府田正雄, 橋本将行, 高橋宏, 林浩一, 川辺純子, 藤由崇之, 古矢丈雄, 山内友規, 門田領, 宮下智大, 萬納寺誓人, 染谷幸男, 西尾豊, 鎌田尊人, 腰塚周平, 池田修, 喜多恒次, 安宅洋美, 吉永勝訓, 村田淳, 橋本光宏, 大河昭彦, 高橋和久: 圧迫性脊髄症の急性増悪期に顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与による神経保護療法を施行した5症例. *千葉医学* 86: 11-18, 2010.

96. 高橋宏, 佐久間毅, 林浩一, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志:急性脊髄損傷に対して顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与を施行した臨床試験例の検討. 日脊障医誌 23: 34-35, 2010.
97. 佐久間毅, 高橋宏, 林浩一, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志:圧迫性脊髄症急性増悪例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与による神経保護法. 日脊障医誌 23: 36-37, 2010.
98. 山崎正志, 大河昭彦, 望月真人, 国府田正雄, 高橋和久:胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の成績. 日脊障医誌 23: 14-15, 2010.
99. 林浩一, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志:ラット脊髄損傷に対する人工多能性幹(iPS)細胞由来 astrocyte 移植効果の検討. 日脊障医誌 23: 46-47, 2010.
100. 望月真人, 相庭温臣, 橋本光宏, 山崎正志:脊柱管狭窄症を伴う無症候性あるいは早期脊髄症を呈した頸椎後縦靭帯骨化症の自然経過およびその脊髄症発症、増悪因子. 整形外科 6: 9-15, 2009.
101. 林浩一, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志:ラット脊髄損傷に対するシロスタゾール投与の有用性の検討. 日脊障医誌 22: 128-129, 2009.
102. 川辺純子, 国府田正雄, 橋本将行, 大河昭彦, 山崎正志:ラット脊髄圧挫損傷慢性期における細胞外マトリックス分解促進によるグリア療痕抑制効果. 日脊障医誌 22: 130-131, 2009.
103. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 松瀬大, 大河昭彦, 山崎正志:ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける bFGF 徐放ゼラチンハイドロゲル移植の検討. 日脊障医誌 22: 132-133, 2009.
104. 鈴木都, 大河昭彦, 村上正純, 染谷幸男, 門田領, 宮下智大, 萬納寺誓人, 高橋和久, 山崎正志:対麻痺が癌の初発症状となった転移性胸髄腫内腫瘍の1例. 千葉医学 85: 135-138, 2009.
105. 古矢丈雄, 山崎正志, 大河昭彦, 高橋和久:アテトーゼ型脳性麻痺に伴う頸髄症に対する治療成績. 日本脊椎インストゥルメンテーション学会誌 8: 7-11, 2009.
106. 藤由崇之, 山崎正志, 大河昭彦, 川辺純子, 古矢丈雄, 高橋和久:頸椎後縦靭帯骨化症に対する頸椎後方除圧固定術の有用性, 無症候例から見た解析. 日本脊椎インストゥルメンテーション学会誌 8: 12-15, 2009.
107. 藤由崇之, 山崎正志, 高橋和久:ダウン症候群の上位頸椎手術例における椎骨動脈走行異常. 日小整会誌 18: 331-335, 2009.
108. 松本守雄, 千葉一裕, 戸山芳昭, 竹下克志, 星地垂都司, 中村耕三, 有水淳, 藤林俊介, 平林茂, 平野徹, 岩崎幹季, 金岡恒治, 川口善治, 井尻幸成, 前田健, 松山幸弘, 三上靖夫, 村上英樹, 永島英樹, 永田見生, 中原進之介, 野原裕, 岡史朗, 阪本桂造, 猿橋康雄, 笹生豊, 清水克時, 田口敏彦, 高橋誠, 田中靖久, 谷俊一, 徳橋泰明, 内田研造, 山本謙吾, 山崎正志, 横山徹, 吉田宗人, 西脇祐司:胸椎後縦靭帯骨化症に対する手術成績に影響を与える因子の検討, 多施設後ろ向き研究. 臨整外 43: 531-538, 2008.
109. 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 高橋和久, 梁川範幸:上位頸椎インストゥルメンテーション手術における椎骨動脈の骨外・骨内走行の術前評価, 3次元CT血管造影法の有用性. 臨整外 43: 875-881,

- 2008.
110. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志: ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける骨髄間質細胞(BMSC)移植と Rho キナーゼ阻害薬の併用による治療効果. 日脊障医誌 21: 106-107, 2008.
111. 川辺純子, 国府田正雄, 門田領, 大河昭彦, 山崎正志: ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける顆粒球コロニー刺激因子の血管系に対する作用. 日脊障医誌 21: 112-113, 2008.
112. 遠藤友規, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 萬納寺誓人, 宮下智大, 川辺純子, 林浩一, 藤由崇之: 三次元画像構築が可能であるフリーソフトの脊椎外科における有用性. 日脊障医誌 21: 124-125, 2008.
113. 遠藤友規, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 萬納寺誓人, 宮下智大, 川辺純子, 林浩一, 藤由崇之: 慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)と頸椎症性脊髄症の合併例に対する手術経験. 日脊障医誌 21: 154-155, 2008.
114. 林浩一, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 宮下智大, 遠藤友規: 頸椎椎弓形成術後に局所後弯が増強し歩行不能となった1例. 日脊障医誌 21: 152-153, 2008.
115. 藤由崇之, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 萬納寺誓人, 宮下智大, 川辺純子, 林浩一: 無症状の頸椎後縦靭帯骨化症例の検討. 日脊障医誌 21: 156-157, 2008.
116. 榊原隆次, 山崎正志, 萬納寺誓人, 内山智之, 山口千晴, 服部孝道: 四肢麻痺消失後に尿閉が残存した特発性頸髄硬膜外血腫. 日脊障医誌 21: 80-81, 2008.
- 位頸椎手術例における椎骨動脈走行異常. 第19回日本小児整形外科学会基礎学術集会 2008年12月11-12日 ホテルラフォーレ東京 東京都 日小整会誌 17(3): S472, 2008
2. 山崎正志: セミナー「頸椎および胸椎後縦靭帯骨化症に対する手術成績, 特に後方除圧の限界と対策について」難治性疾患克服研究事業 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究. 平成20年度第2回班会議 2008年12月13日慶應義塾大学病院 新棟11階大会議室 東京都
3. Fujiyoshi T, Kubo T, Chan C, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Hashimoto M, Mannoji C, Kawabe J, Furuya T, Endo T, Hayashi K, Takahashi K, Yamashita T. Interferon gamma treatment decreased CSPG expression and recovered hind-limb function after spinal cord injury in mice. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
4. Endo T, Tamura Y, Koda M, Yamazaki M, Okawa A, Hashimoto M, Fujiyoshi T, Kawabe J, Hayashi K, Furuya T, Takahashi T. The inhibition of EGFR by peptide drug synthesized in silico. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
5. Hayashi K, Hashimoto M, Koda M, Yamazaki M, Okawa A, Kawabe J, Fujiyoshi T, Endo T, Furuya T, Takahashi K. Preoperative and postoperative administration of phosphodiesterase 3 inhibitor rather exacerbate locomotor

学会発表

1. 藤由崇之, 山崎正志: パネルディスカッション「小児の頸椎疾患」ダウン症候群の上

- recovery in a inal cord injury in rats. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
6. Kawabe J, Koda M, Hashimoto M, Fujiyoshi T, Hayashi K, Furuya T, Endo T, Okawa A, Yamazaki M, Takahashi K. Suppression of glial scar inhibition by promoting degradation of extracellular matrix after chronic spinal cord injury in rats. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
7. Koda M, Hashimoto M, Kawabe J, Fujiyoshi T, Hayashi K, Furuya T, Endo T, Okawa A, Yamazaki M. Constraint induced movement therapy for spinal cord hemisection injury in adult rats. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
8. Furuya T, Hashimoto M, Koda M, Murata A, Okawa A, Yamazaki M, Dezawa M, Matsuse D, Tabata Y, Takahashi K. Effects of BFGF incorporated gflatin hydrogel transplantation in a rat spinal cord cintysion model. The 26th Annual National Neurotrauma Society Symposium, July 27-30, 2008, The Hilton Walt Disney World Resort, Orlando
9. 林浩一, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 宮下智大, 萬納寺誓人, 藤由崇之, 川辺純子, 遠藤友規, 古矢丈雄. 頰椎の開放性脱臼骨折に対する治療経験. 第10回ちば脊椎カンファレンス 2008年2月2日 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張千葉市
10. 藤由崇之, 山崎正志, 大河昭彦, 門田領, 萬納寺誓人, 宮下智大, 川辺純子, 林浩一, 遠藤友規, 古矢丈雄, 高橋和久. 頰椎後縦靭帯骨化症例における脊髄障害の病態, 無症候例から見た解析. 第37回日本脊椎脊髄病学会 2008年4月24-26日 京王プラザホテル 東京都 日脊会誌 19: 241, 2008
11. 川辺純子, 国府田正雄, 門田領, 橋本将行, 萬納寺誓人, 宮下智大, 藤由崇之, 古矢丈雄, 遠藤友規, 林浩一, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける顆粒球コロニー刺激因子の血管系に対する効果. 第37回日本脊椎脊髄病学会 2008年4月24-26日 京王プラザホテル 東京都 日脊会誌 19: 93, 2008
12. 高相晶士, 糸満盛憲, 中澤俊之, 井村貴之, 宮島玄陽, 斉藤亘, 江村星, 新谷りょう介, 高平尚伸, 大鳥精司, 井上雅俊, 中田好則, 山崎正志, 高橋和久. 高度脊柱変形手術における矢状面アライメント矯正効果. 第37回日本脊椎脊髄病学会 2008年4月24-26日 京王プラザホテル 東京都 日脊会誌 19: 446, 2008
13. 大河昭彦, 山崎正志, 村上正純, 門田領, 萬納寺誓人, 宮下智大, 染谷幸男, 高橋和久. 脊髄腫瘍手術における3次元実体モデルの応用. 第81回日本整形外科学会学術総会 2008年5月22-25日 北海道厚生年金会館 札幌市 日整会誌 82(2): S60, 2008
14. 大河昭彦, 山崎正志, 藤由崇之, 川辺純子, 遠藤友規, 古矢丈雄, 林浩一, 大前隆則, 高橋和久. 特発性脊髄ヘルニアの1手術例. 第11回ちば脊椎カンファレンス 2008年7月19日 アパホテル&リゾ

- ート東京ベイ幕張 千葉市
15. 川辺純子, 国府田正雄, 橋本将行, 藤由崇之, 林浩一, 遠藤友規, 古矢丈雄, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷慢性期における細胞外マトリックス分解促進による瘢痕抑制効果. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S917, 2008
 16. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおけるグリア前駆細胞由来アストロサイト移植の検討. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S1052, 2008
 17. 遠藤友規, 国府田正雄, 田村裕, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. コンピューター上にて合成を行ったペプチド医薬によるEGFR阻害効果. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S1058, 2008
 18. 藤由崇之, 久保武一, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 川辺純子, 古矢丈雄, 山口淳, 山下俊英, 高橋和久. Interferon gamma (IFN γ) の脊髄損傷治療効果. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S1215, 2008
 19. 鈴木利直, 藤由崇之, 久保武一, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 川辺純子, 古矢丈雄, 山口淳, 高橋和久. IFN γ 刺激による astrocyte への影響. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S1215, 2008
 20. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 大河昭彦, 山崎正志, 出澤真理, 松瀬大, 田畑泰彦, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける bFGF 徐放ゼラチンハイドロゲル移植の検討. 第23回日本整形外科学会基礎学術集会 2008年10月23-24日 国立京都国際会館 京都市 日整会誌 82(8): S1220, 2008
 21. 藤由崇之, 山崎正志, 大河昭彦, 川辺純子, 古矢丈雄, 林浩一, 遠藤友規, 高橋和久. 頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術は、なぜ有効か? 第17回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2008年10月2-3日 名古屋銀行協会倶楽部 名古屋市 抄録集 p174-5
 22. 古矢丈雄, 山崎正志, 大河昭彦, 遠藤友規, 林浩一, 川辺純子, 藤由崇之, 高橋和久. 当科におけるアテトーゼ型脳性麻痺に伴う頸髄症に対する治療成績. 第17回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2008年10月2-3日 名古屋銀行協会倶楽部 名古屋市 抄録集 p180-1
 23. 新靱正明, 政木豊, 門田領, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリュー刺入角度の検討. 第17回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2008年10月2-3日 名古屋銀行協会倶楽部 名古屋市 抄録集 p182-3
 24. 門田領, 新靱正明, 政木豊, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリュー刺入に関する解剖学的検討. 第17回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2008年10月2-3日 名古屋銀行協会倶楽部 名古屋市 抄録集 p186-7
 25. 遠藤友規, 山崎正志, 大河昭彦, 川辺純子, 林浩一, 藤由崇之, 古矢丈雄, 梁川範幸, 高橋和久. 三次元画像構築が可能であるフリーソフトウェアの脊椎外科に

- おける有用性と信頼性. 第 17 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2008 年 10 月 2-3 日 名古屋銀行協会倶楽部 名古屋市 抄録集 p244-5
26. 林浩一, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志. ラット脊髄損傷に対するシロスタゾール投与の有用性. 第 43 回日本脊髄障害医学会 2008 年 11 月 6-7 日 かでの 2・7 札幌市 抄録集 p118
27. 藤由崇之, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 久保武一. インターフェロンガンマの脊髄損傷治療効果. 第 43 回日本脊髄障害医学会 2008 年 11 月 6-7 日 かでの 2・7 札幌市 抄録集 p118
28. 川辺純子, 国府田正雄, 橋本将行, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷慢性期における細胞外基質分解促進によるグリア瘢痕抑制効果. 第 43 回日本脊髄障害医学会 2008 年 11 月 6-7 日 かでの 2・7 札幌市抄録集 p119
29. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 出澤真理, 山崎正志. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける bFGF 徐放ゼラチンハイドロゲル移植の検討. 第 43 回日本脊髄障害医学会 2008 年 11 月 6-7 日 かでの 2・7 札幌市 抄録集 p120
30. 国府田正雄, 橋本将行, 古矢丈雄, 林浩一, 大河昭彦, 山崎正志. 脊髄圧挫損傷モデルに対する constraint-induced movement therapy の検討. 第 43 回日本脊髄障害医学会 2008 年 11 月 6-7 日 かでの 2・7 札幌市 抄録集 p147
31. 山崎正志, 藤由崇之, 川辺純子, 遠藤友規, 古矢丈雄, 林浩一, 国府田正雄, 大河昭彦, 高橋和久. 頸椎後縦靭帯骨化症の脊髄症状発現における静的および動的因子の関与, 無症候例から見た解析. 難治性疾患克服研究事業 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 平成 20 年度第 2 回班会議 2008 年 12 月 13 日 慶應義塾大学病院 新棟 11 階大会議室 東京都
32. 大前隆則, 大河昭彦, 藤由崇之, 川辺純子, 古矢丈雄, 林浩一, 遠藤友規, 山崎正志, 村上正純. 特発性脊髄ヘルニアの 1 例. 第 1173 回千葉医学会整形外科例会 2008 年 12 月 13-14 日 千葉大学医学部附属病院 第一講堂 千葉市
33. 木内均, 大河昭彦, 山崎正志, 古矢丈雄, 藤由崇之, 川辺純子, 遠藤友規, 林浩一. 広範後方要素切除により後方アプローチで摘出を行った胸髄腹側髄膜腫の 1 例. 第 1173 回千葉医学会整形外科例会 2008 年 12 月 13-14 日 千葉大学医学部附属病院 第一講堂 千葉市
34. 西能健, 大鳥精司, 山下正臣, 山内かづ代, 鈴木宗貴, 折田純久, 江口和, 萩原茂生, 山本陽平, 中山美恵, 山崎正志, 古志貴和. 腸骨スクリューを用いて再建した腰椎再手術 3 例の検討. 第 1173 回千葉医学会整形外科例会 2008 年 12 月 13-14 日 千葉大学医学部附属病院 第一講堂 千葉市
35. 山崎正志, 大河昭彦, 川辺純子, 藤由崇之, 古矢丈雄, 遠藤友規, 林浩一, 高橋和久. 頸椎後縦靭帯骨化症に対する前方手術中に頸椎部クモ膜下出血を生じた 1 例. 第 12 回ちば脊椎カンファレンス 2009 年 2 月 14 日 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 千葉市
36. 木内均, 古矢丈雄, 大河昭彦, 川辺純子, 林浩一, 藤由崇之, 遠藤友規, 山崎正志, 高橋和久. 広範後方要素切除により後方アプローチで摘出を行った胸髄腹側髄膜腫の 1 例. 第 49 回関東整形災害外科学会 2009 年 3 月 20-21 日 シェーンバツ

- ハ・サボー 東京都 抄録集 p76
37. 大前隆則, 大河昭彦, 藤由崇之, 川辺純子, 古矢丈雄, 林浩一, 遠藤友規, 山崎正志, 村上正純. 特発性脊髄ヘルニアの1例. 第49回関東整形災害外科学会 2009年3月20-21日 シェーンバツハ・サボー 東京都 抄録集 p129
38. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおけるグリア前駆細胞由来アストロサイト移植の検討. 第8回日本再生医療学会総会 2009年3月5-6日 東京国際フォーラム 東京都 再生医療 8 supplement: 172, 2009
39. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 大河昭彦, 山崎正志, 出澤真理, 松瀬大, 田畑泰彦, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおけるbFGF徐放ゼラチンハイドロゲル移植の検討. 第8回日本再生医療学会総会 2009年3月5-6日 東京国際フォーラム 東京都 再生医療 8 supplement: 173, 2009
40. Fujiyoshi, T., Yamazaki, M., Okawa, A., Kawabe, J., Hayashi, K., Endo, T., Takahashi, K. Analysis of factors for the development of myelopathy in patients with cervical OPLL: static factor versus dynamic factor. 24th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society European Section/Spine Week 2008. May 26-27, 2008, Geneva Palexpo, Geneva
41. Kawabe, J., Koda, M., Hashimoto, M., Kadota, R., Mannoji, C., Miyashita, T., Fujiyoshi, T., Okawa, A., Yamazaki, M., Takahashi, K. Granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) exerts neuroprotective effect via promoting angiogenesis after spinal cord injury in rats. Annual Meeting, EuroSpine/Spine Week 2008. May 26-27, 2008, Geneva Palexpo, Geneva
42. Yamazaki, M., Okawa, A., Fujiyoshi, T., Kawabe, J., Endo, T., Furuya, T., Hayashi, K. Evaluation of anomalous vertebral artery in patients who had instrumentation surgery at the craniovertebral junction. 24th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society European Section/Spine Week 2008. May 26-27, 2008, Geneva Palexpo, Geneva
43. Ataka, T., Tanno, T., Yamazaki, M. Feasibility of C2 pedicle screw placement in patients with rheumatoid arthritis. 24th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society European Section/Spine Week 2008. May 26-27, 2008, Geneva Palexpo, Geneva
44. Endo, T., Yamazaki, M., Okawa, A., Kawabe, J., Hayashi, K., Fujiyoshi, T., Furuya, T., Takahashi, K., Yanagawa, N. The usefulness and reliability of a high functional open source DICOM software in spine surgery. 24th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society European Section/Spine Week 2008. May 26-27, 2008, Geneva Palexpo, Geneva
45. Ataka, H., Tanno, T., Yamazaki, M. High incidence of sleep apnea syndrome in patients with rheumatoid arthritis and upper cervical lesions. 36th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 4-6, 2008, Renaissance Austin Hotel, Austin, Texas
46. Fujiyoshi, T., Yamazaki, M., Okawa, A., Kawabe, J., Furuya, T., Endo, T., Hayashi, K., Takahashi, K. Analysis of factors for

- the development of myelopathy in patients with cervical OPLL: static factor versus dynamic factor. 36th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 4-6, 2008, Renaissance Austin Hotel, Austin, Texas
47. Kawabe, J., Koda, M., Hashimoto, M., Kadota, R., Fujiyoshi, T., Okawa, A., Yamazaki, M., Takahashi, K. Granulocyte colony-stimulating factor promotes angiogenesis and displays neuroprotective effects after spinal cord injury in rats. 36th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 4-6, 2008, Renaissance Austin Hotel, Austin, Texas
48. Kawabe J, Koda M, Hashimoto M, Fujiyoshi T, Furuya T, Endo T, Hayashi K, Okawa A, Yamazaki M. Neuroprotective effects of Granulocyte colony stimulating factor on acute spinal cord injury: experimental study and clinical experience. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p111.
49. Aramomi M, Masaki Y, Kadota R, Okawa A, Yamazaki M. Anterior pedicle screw fixation for multilevel cervical corpectomy and fusion: cadaveric study and clinical case series. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p58.
50. Ataka H, Tanno T, Miyashita T, Yamazaki M. O-C2 angle has a major impact on the sleep apnea syndrome in patients with rheumatoid arthritis and upper cervical lesions. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p61.
51. Mochizuki M, Aiba A, Kadota R, Yamazaki M. Clinical outcome of anterior decompression and arthrodesis with a dynamic cervical plate for cervical spondylotic myelopathy in elderly patients. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p120.
52. Fujiyoshi T, Yamazaki M, Okawa A, Kawabe J, Hayashi K, Furuya T, Yamauchi T, Sakuma T, Takahashi H, Konishi H, Takahashi K. The outcome of posterior decompression surgery for patients with cervical myelopathy due to the K-line(-)-type OPLL: laminoplasty versus posterior decompression with instrumented fusion. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p128.
53. Kadota R, Aramomi M, Masaki Y, Mochizuki M, Aiba A, Okawa A, Yamazaki M. Insertion angle of anterior pedicle screw fixation for multilevel cervical corpectomy and fusion: an anatomical study. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p141.
54. Hayashi K, Hashimoto M, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Kawabe J, Fujiyoshi T, Endo T, Furuya T, Sakuma T, Takahashi H, Takahashi K. Effects of cilostazol on an acute or chronic spinal cord injury model of rats. 25th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-European Section, Abstract p144.
55. Hayashi K, Hashimoto M, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Sakuma T, Takahashi T. Transplantation of astrocytes derived

- from induced pluripotent stem cell on an experimental spinal cord injury in rats. Neurotrauma 2009, Abstract p23.
56. Koda M, Hayashi K, Hashimoto M, Sakuma T, Takahashi H, Okawa A, Yamazaki M. Transplantation of activated macrophage for chronic spinal cord injury in rats. Neurotrauma 2009, Abstract p31.
57. Hashimoto M, Furuya T, Koda M, Hayashi K, Murata A, Okawa A, Dezawa M, Tabata Y, Takahashi K, Yamazaki M. Effects of bFGF incorporated gelatin hydrogel and bone marrow stromal cell-derived neural progenitor cell transplantation in a rat spinal cord contusion model. Neurotrauma 2009, Abstract p97.
58. Fujiyoshi T, Yamazaki M, Konishi H, Okawa A, Kawabe J, Furuya T, Hayashi K, Takahashi K. The outcome of posterior decompression surgery for patients with cervical myelopathy due to the K-line(-)-type OPLL: laminoplasty versus posterior decompression with instrumented fusion. 37th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society, Abstract p137.
59. Yamazaki M, Koda M, Kawabe J, Hayashi K, Sakuma T, Takahashi H, Okawa A. Neuroprotective effects of granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) on the injured spinal cord: experimental studies and its early clinical trial. 37th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society, Abstract p229.
60. Aramomi M, Masaki Y, Okawa A, Yamazaki M. Anterior pedicle screw fixation for multilevel cervical corpectomy and fusion: clinical case series. 37th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society, Abstract p193-194.
61. Nakajima F, Ikeda Y, Aoki Y, Yamagata M, Yamazaki M. Evaluation of upper extremity function recovery using the hand function test (STEF) after laminoplasty. 37th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society, Abstract p285.
62. 川辺純子, 国府田正雄, 門田領, 西尾豊, 橋本将行, 藤由崇之, 古矢丈雄, 遠藤友規, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. パネルディスカッション「脊髄修復の促進技術」脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子の治療効果. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会, 日整会誌 83(8):S1015, 2009.
63. 山崎正志, 大河昭彦, 望月真人, 国府田正雄, 高橋和久. シンポジウム「胸椎 OPLL に対する手術治療—The Cutting Edge」胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の成績. 第44回日本脊髄障害医学会, 抄録集 p51.
64. 安宅洋美, 丹野隆明, 宮下智大, 山崎正志. 関節リウマチ症例における軸椎椎弓根スクリュー刺入の可否に関する検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):132, 2009.
65. 望月真人, 相庭温臣, 山崎正志. 頸椎 OPLL に対する前方除圧術の工夫と成績. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):172, 2009.
66. 門田領, 新靱正明, 政木豊, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリュー刺入に関する解剖学的検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):278, 2009.
67. 新靱正明, 政木豊, 門田領, 大河昭彦,

- 山崎正志. 前方椎弓根スクリュー刺入角度の検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):279, 2009.
68. 川辺純子, 国府田正雄, 橋本将行, 藤由崇之, 古矢丈雄, 遠藤友規, 林浩一, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. 脊髄損傷慢性期における細胞外マトリックス分解酵素によるグリア瘢痕抑制効果. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):290, 2009.
69. 安宅洋美, 丹野隆明, 宮下智大, 山崎正志. 上位頸椎病変を有する関節リウマチ手術症例における睡眠時無呼吸症候群の検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会, 日脊会誌 20(1):132, 2009.
70. 望月真人, 相庭温臣, 山崎正志. 頸椎後縦靱帯骨化症に対するわれわれの方法による前方骨化摘出固定術の成績. 第82回日本整形外科学会学術総会, 日整会誌 83(2):S265, 2009.
71. 林浩一, 橋本将行, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄. ラット脊髄損傷に対する人工多能性幹(iPS)細胞由来 astrocyte 移植の効果. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会, 日整会誌 83(8):S1068, 2009.
72. 新垣正明, 政木豊, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリューを用いた多椎間頸椎前方除圧固定術における骨癒合過程と合併症. 第18回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 抄録集 p. 102-3.
73. 藤由崇之, 山崎正志, 小西宏昭, 大河昭彦, 須藤英文, 蓮江文男, 田中正, 高橋和久. 頸椎後縦靱帯骨化症 K-line(-)例に対する後方除圧固定術の成績. 第18回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 抄録集 p. 288-9
74. 高橋宏, 佐久間毅, 林浩一, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志. 急性期脊髄損傷に対して顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与を施行した臨床試験例の検討. 第44回日本脊髄障害医学会, 抄録集 p84.
75. 佐久間毅, 高橋宏, 林浩一, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志. 圧迫性脊髄症急性増悪例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与による神経保護療法. 第44回日本脊髄障害医学会, 抄録集 p84.
76. 林浩一, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志. ラット脊髄損傷に対する人工多能性幹(iPS)細胞由来 astrocyte 移植効果の検討. 第44回日本脊髄障害医学会, 抄録集 p98.
77. 国府田正雄, 林浩一, 橋本将行, 大河昭彦, 山崎正志. 慢性期脊髄損傷に対する活性化マクロファージ移植の治療効果. 第44回日本脊髄障害医学会, 抄録集 p98.
78. 山崎正志, 藤由崇之, 林浩一, 佐久間毅, 高橋宏, 大河昭彦, 高橋和久. シンポジウム「高齢者脊椎疾患に対する手術戦略: 頸椎症性脊髄症」. 頸椎後縦靱帯骨化症に対する後方除圧固定術の成績, K-line(-)型高齢者頸髄症例に対する有用性. 第50回関東整形災害外科学会. 2010年3月19-20日 グランドプリンスホテル高輪 東京都. 関東整災誌 41 巻臨時増刊号外:115, 2010.
79. 橋本光宏, 望月真人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志, 大河昭彦, 林浩一, 佐久間毅, 高橋宏, 高橋和久. シンポジウム「高齢者脊椎疾患に対する手術戦略: 頸椎症性脊髄症」. 高齢者頸椎症性脊髄症の病態および前方除圧固定術の治療成績. 第39回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月22-24日 高知県立県民文化ホール 高

- 知市. J Spine Res 1(3):244, 2010.
80. 藤由崇之, 山崎正志, 小西宏昭, 大河昭彦, 川辺純子, 古矢丈雄, 林浩一, 蓮江文男, 田中正, 高橋和久. シンポジウム「重度 OPLL に対する術式選択と合併症対策」. 重度頚椎 OPLL 症例<K-line(-)>に対する後方除圧固定術の成績. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):259, 2010
81. 山崎正志, 大河昭彦, 佐久間毅, 高橋宏, 林浩一, 橋本光宏, 国府田正雄, 望月真人, 高橋和久. シンポジウム「重度 OPLL に対する術式選択と合併症対策」. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術, 中長期成績および脊髄症改善の機序. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):262, 2010.
82. 橋本光宏, 望月真人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志, 大河昭彦, 林浩一, 佐久間毅, 高橋宏, 高橋和久. シンポジウム「頚椎症性筋萎縮症の病態と治療」. 頚椎前方手術後の C5 麻痺. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(4):876, 2010.
83. Yamazaki M. Symposium “Surgical management for upper cervical lesions.” Anomalous vertebral artery at the extraosseous and intraosseous regions of the craniovertebral junction visualized by 3-D CT angiography: analyses on the 100 consecutive operative cases. The 1st Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, April 24-25, 2010, Kobe International Conference Center, Kobe. Abstract P34.
84. 山崎正志, 佐久間毅, 高橋 宏, 林 浩一, 国府田正雄, 橋本将行, 大河昭彦, 高橋和久. シンポジウム「脊髄・神経再生の基礎と臨床の進歩」. 急性脊髄損傷および圧迫性脊髄症急性増悪例に対する G-CSF を用いた神経保護療法: phase I・IIa 臨床試験. 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010 年 5 月 27-30 日 東京国際フォーラム 東京都. 日整会誌 84(3):S52, 2010.
85. 山崎正志, 望月真人, 新靱正明, 大河昭彦, 高橋和久. シンポジウム「脊椎インストゥルメンテーションの功罪」. 頚椎前方インストゥルメンテーション手術の最近の進歩とリスク. 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010 年 5 月 27-30 日 東京国際フォーラム 東京都. 日整会誌 84(3):S146, 2010.
86. 国府田正雄, 橋本将行, 西尾豊, 門田領, 川辺純子, 佐久間毅, 高橋宏, 萬納寺誓人, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. パネルディスカッション「臨床への橋渡し研究の現状-2 脊髄」. 脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の治療効果. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1026, 2010.
87. 山崎正志, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 橋本光宏, 国府田正雄, 橋本将行, 大河昭彦, 高橋和久. シンポジウム「脊髄再生研究の臨床応用における課題とその最先端:基礎から臨床へ」. 急性脊髄損傷および圧迫性脊髄症急性増悪例に対する G-CSF 神経保護療法:Phase I/IIa 臨床試験. 第 85 回日本整形外科学会学術総会. 2011 年 5 月 12-15 日 パシフィコ横浜 横

- 浜市. 日整会誌 85(2):S16, 2011.
88. 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 藤由崇之, 古矢丈雄, 国府田正雄, 高橋和久. シンポジウム「脊椎脊髄手術と医療安全」. 上位頸椎インストゥルメンテーション手術例における椎骨動脈走行の術前評価の意義: 術中椎骨動脈損傷回避に向けて. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. *J Spine Res* 2(3):441, 2011.
89. Yamazaki M, Sakuma T, Takahashi H, Hayashi K, Hashimoto M, Okawa A, Hashimoto M, Koda M. Neuroprotective therapy using granulocyte-colony stimulating factor for patients with acute spinal cord injury and rapidly aggravating compression myelopathy: phase I and IIa clinical trial. The 1st Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. April 24-25, 2010, Kobe International Conference Center, Kobe. Abstract P66.
90. Aramomi M, Masaki Y, Okawa A, Yamazaki M. Clinical results of anterior pedicle screw fixation for multilevel cervical corpectomy and spinal fusion. The 1st Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. April 24-25, 2010, Kobe International Conference Center, Kobe. Abstract P103.
91. Yamazaki M, Okawa A, Sakuma T, Takahashi H, Hashimoto M, Koda M, Takahashi K. Anomalous vertebral artery at the extraosseous and intraosseous regions of the craniovertebral junction detected by 3-D CT angiography: analyses on the 100 consecutive operative cases. *EuroSpine* 2010, Annual Meeting of the Spine Society of Europe. September 15-17, Reed Messe Wien Exhibition & Congress Center, Viena. *Eur Spine J* 19 (Supple 3): S235, 2010.
92. Takahashi H, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Hashimoto M, Hashimoto M, Hayashi K, Kato K, Takahashi K. Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) for acute spinal cord injury: phase I, IIa clinical trial. *EuroSpine* 2010, Annual Meeting of the Spine Society of Europe. September 15-17, Reed Messe Wien Exhibition & Congress Center, Viena. *Eur Spine J* 19 (Supple 3): S235-S236, 2010.
93. Hashimoto M, Mochizuki M, Aiba A, Okawa A, Hayashi K, Sakuma T, Takahashi H, Koda M, Takahashi K, Yamazaki M. C5 palsy following anterior decompression and spinal fusion for cervical degenerative diseases. *EuroSpine* 2010, Annual Meeting of the Spine Society of Europe. September 15-17, Reed Messe Wien Exhibition & Congress Center, Viena. *Eur Spine J* 19 (Supple 3): S278, 2010.
94. Sakuma T, Takahashi H, Hayashi K, Hashimoto M, Hashimoto M, Koda M, Okawa A, Yamazaki M. Neuroprotective therapy using granulocyte-colony stimulating factor for patients with rapidly aggravating compression myelopathy: phase I and IIa clinical trial. *EuroSpine* 2010, Annual Meeting of the Spine Society of Europe. September 15-17, Reed Messe Wien Exhibition & Congress Center, Viena. *Eur Spine J* 19 (Supple 3):

- S342, 2010.
95. Nakajima F, Ikeda Y, Yamagata M, Yamazaki M. Quantitative assessment of cervical myelopathy by a hand function test. 38th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, The Westin Charlotte, Charlotte, North Carolina. (Abstract p310-311).
96. Yamazaki M, Okawa A, Hashimoto M, Sakuma T, Takahashi H, Koto K, Takahashi K. Anomalous vertebral artery at the extraosseous and intraosseous regions of the craniovertebral junction detected by 3-D CT angiography: analyses on the 100 consecutive operative cases. 38th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, The Westin Charlotte, Charlotte, North Carolina. (Abstract p383-384).
97. Sakuma T, Yamazaki M, Koda M, Kato K, Takahashi H, Hashimoto M, Okawa A. Neuroprotective therapy using granulocyte-colony stimulating factor for rapidly aggravating compression myelopathy: a phase I and IIa clinical trial. 38th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, The Westin Charlotte, Charlotte, North Carolina. (Abstract p263).
98. Takahashi H, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Hashimoto M, Hashimoto M, Sakuma T, Kato K, Takahashi K. Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) for acute spinal cord injury: a phase I and IIa clinical trial. 38th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, The Westin Charlotte, Charlotte, North Carolina. (Abstract p191).
99. Hashimoto M, Mochizuki M, Aiba A, Okawa A, Takahashi H, Sakuma T, Kato K, Takahashi K, Yamazaki M. C5 palsy following anterior decompression and spinal fusion for cervical myelopathy. 38th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, The Westin Charlotte, Charlotte, North Carolina. (Abstract p205).
100. Sakuma T, Yamazaki M, Koda M, Okawa A, Hashimoto M, Hashimoto M, Mannoji M, Furuya T, Takahashi H, Kato K. Neuroprotective therapy using granulocyte-colony stimulating factor for patients with rapidly aggravating compression myelopathy: a phase I and IIa clinical trial. 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p250).
101. Takahashi H, Yamazaki M, Okawa A, Koda M, Hashimoto M, Hashimoto M, Fujiyoshi T, Furuya T, Sakuma T, Kato K, Takahashi K. A phase I and IIa clinical trial using granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) as a neuroprotective therapy for acute spinal cord injury: 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p70).
102. Hashimoto M, Mochizuki M, Aiba A, Okawa A, Sakuma T, Takahashi H, Kato K, Takahashi K, Yamazaki M. C5 palsy following anterior decompression and

- spinal fusion for cervical degenerative diseases. 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p123).
103. Kato K, Yamazaki M, Sakuma T, Takahashi H, Hashimoto M, Furuya T, Hashimoto M, Koda M, Okawa A, Takahashi K. Granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) reduced neuropathic pain in patients with rapidly aggravating compression myelopathy: analyses of clinical trial cases. 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p67).
104. Aramomi M, Masaki Y, Okawa A, Yamazaki M. Impact of a novel technique of anterior pedicle screw fixation for multilevel cervical corpectomy and spinal fusion on surgical outcome and bony union. 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p71).
105. Kamiya K, Fujiyoshi T, Furuya T, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M. Comparison of cervical OPLL classification between lateral radiographs and CT sagittal reconstruction images. 2nd Annual Meeting, Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section. April 28-30, 2011, Paradise Hotel Busan, Korea. (Abstract p231).
106. 鴨田博人, 大鳥精司, 折田純久, 江口和, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 山崎正志, 高橋和久. 感染の診断に難渋した腰椎後方固定術症例. 第 14 回ちば脊椎カンファレンス. 2010 年 2 月 13 日 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 千葉.
107. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 林浩一, 佐久間毅, 高橋和久. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法: Phase I・IIa 臨床試験. 第 9 回日本再生医療学会総会. 2010 年 3 月 18-19 日 広島国際会議場 広島市. 再生医療 9 suppl: 220, 2010.
108. 中島文毅, 池田義和, 山縣正庸, 青木保親, 中村哲雄, 山崎正志. 日本整形外科学会頸部脊髄症評価質問票 (JOACMEQ)と上肢機能評価との関係. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):437, 2010.
109. 中島文毅, 池田義和, 山縣正庸, 青木保親, 山崎正志. 簡易上肢機能検査 (STEF) による頸髄症の定量的上肢機能評価. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):453, 2010.
110. 西能健, 大鳥精司, 山内かつ代, 折田純久, 江口和, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 山崎正志, 高橋和久, 古志貴和, 山下正臣, 鈴木宗貴. 不安定性腰椎に腸骨スクリューを用いた固定術の成績と問題点. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):495, 2010.
111. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 国府田正雄, 橋本将行, 林浩一, 佐久間毅, 高橋和久. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(Granulocyte colony

- stimulating factor: G-CSF) を用いた神経保護療法の検討. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):590, 2010.
112. 佐久間毅, 山崎正志, 国府田正雄, 橋本将行, 高橋宏, 林浩一, 橋本光宏, 大河昭彦, 高橋和久. 圧迫性脊髄症の急性増悪期に顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF) 投与による神経保護療法: Phase I-IIa 臨床試験. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):603, 2010.
113. 林浩一, 橋本将行, 山崎正志, 村田淳, 大河昭彦, 国府田正雄, 佐久間毅, 高橋宏, 高橋和久. ラット脊髄損傷に対するマウス人工多能性幹(iPS)細胞由来 Astrocyte 移植効果の検討第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):608, 2010.
114. 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 村田淳, 大河昭彦, 山崎正志, 出津真理, 松瀬大, 田畑泰彦, 高橋和久. ラット脊髄圧挫損傷モデルにおける bFGF 徐放ゼラチンハイドロゲルを併用した骨髄間質細胞由来神経前駆細胞移植の検討. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):672, 2010.
115. 古矢丈雄, 山崎正志, 大河昭彦, 佐久間毅, 高橋宏, 高橋和久. アテトーゼ型脳性麻痺に伴う頸髄症に対する治療成績: 術後ハローベスト固定は省略可能か? 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):676, 2010.
116. 新靱正明, 政木豊, 大河昭彦, 山崎正志. 多椎間頸椎前方除圧固定術の成績と合併症: 前方椎弓根スクリューによる移植骨脱転予防. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):704, 2010.
117. 望月真人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志. 高齢者頸髄症に対する多椎間前方除圧固定術の成績および安全性について. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):705, 2010.
118. 望月真人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志. 頸椎後縦靭帯骨化症に対する前方徐圧固定術の成績. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(3):791, 2010.
119. 安宅洋美, 丹野隆明, 宮下智大, 山崎正志. 骨粗鬆症性胸腰椎椎体骨折偽関節に伴う遅発性脊髄障害に対する除圧操作を行わない in situ 後方固定術の治療成績: 生命予後および歩行機能予後に注目して. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(4):821, 2010.
120. 大河昭彦, 山崎正志, 橋本光宏, 林浩一, 佐久間毅, 高橋宏, 新靱正明, 川辺純子, 藤由崇之, 古矢丈雄, 遠藤友規, 高橋和久. 整形外科疾患との鑑別が困難であった脊髄炎症例の検討. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 22-24 日 高知県立県民文化ホール 高知市. J Spine Res 1(4):842, 2010.
121. 山崎正志, 藤由崇之, 大河昭彦, 高橋和久, 小西宏昭. 頸椎後縦靭帯骨化症に

- 対する後方除圧固定術の成績：K-line(-)例に対する後方インストゥルメンテーション固定併用の意義. 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010 年 5 月 27-30 日 東京国際フォーラム 東京都. 日整会誌 84(4):S394, 2010.
122. 山崎正志, 新靱正明, 政木豊, 大河昭彦, 高橋和久. 前方椎弓根スクリー併用による多椎間頸椎前方除圧固定術の成績. 第 83 回日本整形外科学会学術総会. 2010 年 5 月 27-30 日 東京国際フォーラム 東京都. 日整会誌 84(4):S394, 2010.
123. 国府田正雄, 林浩一, 藤由崇之, 佐久間毅, 高橋宏, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. 慢性期脊髄損傷に対する活性化マクロファージ移植の治療効果. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1045, 2010.
124. 佐久間毅, 山崎正志, 加藤啓, 高橋宏, 古矢丈雄, 山内友規, 川辺純子, 林浩一, 藤由崇之, 橋本将行, 橋本光宏, 国府田正雄, 大河昭彦, 高橋和久. 圧迫性脊髄症急性増悪例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与による神経保護療法. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1052, 2010.
125. 江口和, 大鳥精司, 山崎正志, 国吉一樹, 井上玄, 折田純久, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 榊田喜正, 高橋和久. 拡散強調 MR neurography を用いた腕神経叢の解剖学的検討. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1067, 2010.
126. 江口和, 大鳥精司, 山崎正志, 国吉一樹, 井上玄, 折田純久, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 榊田喜正, 高橋和久. 拡散強調 MR neurography を用いた頸椎神経根症および腕神経損傷の評価. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1067, 2010.
127. 高橋宏, 国府田正雄, 橋本将行, 大河昭彦, 橋本光宏, 林浩一, 佐久間毅, 加藤啓, 山崎正志, 高橋和久. マウス脊髄損傷モデルに対する G-CSF 動員末梢血幹細胞移植の治療効果. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1296, 2010.
128. 林浩一, 橋本将行, 国府田正雄, 山崎正志, 村田淳, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏, 高橋和久. ラット脊髄損傷に対するマウス人工多能性幹(iPS)細胞由来 astrocyte 移植効果. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会. 平成 22 年 10 月 14-15 日 国立京都国際会館 京都市. 日整会誌 84(8):S1296, 2010.
129. 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 藤由崇之, 古矢丈雄, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 高橋和久. 上位頸椎インストゥルメンテーション手術例 100 例における椎骨動脈の骨外・骨内走行の術前評価:3 次元 CT 血管造影法による解析. 第 19 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010 年 10 月 28-29 日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p96-7.
130. 古矢丈雄, 小西宏昭, 奥平毅, 山根宏敏, 久芳昭一, 津田圭一, 藤由崇之, 山崎正志. 当院における頸椎後縦靱帯骨化症の術式選択と治療成績. 第 19 回日本脊

- 椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p132-3.
131. 神谷光史郎, 藤由崇之, 川辺純子, 古矢丈雄, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. 頤椎後縦靱帯骨化症における単純X線とCTでの骨化型分類の評価の検討. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p134-5.
132. 藤由崇之, 蓮江文男, 大塚誠, 中嶋隆行, 柿崎潤, 神谷光史郎, 八束朋代, 斎藤淳哉, 田中正, 山崎正志. 頤椎脱臼骨折に対する脱臼整復・内固定のタイミング. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p138-9.
133. 宮城正行, 大鳥精司, 井上玄, 江口和, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 鈴木都, 宮内英聡, 山崎正志, 高橋和久. 腎移植患者の腰椎手術の小経験. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p240-1.
134. 新毅正明, 政木豊, 佐久間詳浩, 宮本周一, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリューを用いた多椎間頤椎前方除圧固定術における骨癒合過程: CTでの骨癒合評価. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p252-3.
135. 橋本光宏, 望月眞人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志, 大河昭彦, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 高橋和久. Dynamic plateを用いた高齢者頤髓症に対する選択的頤椎前方除圧固定術の手術成績. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p254-5.
136. 清水純人, 染谷幸男, 新毅正明, 山崎正志. 頤椎前方椎弓根スクリューと mesh cage を用いた多椎間頤椎前方固定術. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p256-7.
137. 望月眞人, 相庭温臣, 門田領, 山崎正志. 頤椎前方プレート固定時の両側骨皮質貫通のためのスクリュー長決定に関する検討. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010年10月28-29日 札幌プリンスホテル 札幌市. 抄録集 p258-9.
138. 高橋宏, 国府田正雄, 橋本将行, 佐久間毅, 大河昭彦, 山崎正志. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法の検討: 第3報. 第45回日本脊髄障害医学会. 2010年11月21-2日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p115.
139. 佐久間毅, 加藤啓, 高橋宏, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志. 圧迫性脊髄症急性増悪期例に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法: Phase I/IIa 臨床試験. 第45回日本脊髄障害医学会. 2010年11月21-2日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p115.
140. 佐久間毅, 加藤啓, 高橋宏, 大河昭彦, 国府田正雄, 山崎正志. 脊柱靱帯骨化症に伴う脊髄障害性疼痛に対し顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)が著効した2例. 第45回日本脊髄障害医学会. 2010年11月21-2日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p169.
141. 飯島靖, 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏. 胸髄症の急性増悪を

- きたした 30 歳台前半発症の脊柱靭帯骨化症の 1 例. 第 45 回日本脊髄障害医学会. 2010 年 11 月 21-2 日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p172.
142. 加藤啓, 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏. 髄内と硬膜内髄外に独立して発生した頸髄多発性神経鞘腫の一例. 第 45 回日本脊髄障害医学会. 2010 年 11 月 21-2 日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p177.
143. 輪湖靖, 高橋宏, 橋本光宏, 佐久間毅, 大河昭彦, 山崎正志. 胸椎脊柱靭帯骨化症に胸髄硬膜内髄外腫瘍を併し下肢麻痺を呈した 1 例. 第 45 回日本脊髄障害医学会. 2010 年 11 月 21-2 日 松本文化会館 松本市. 抄録集 p178.
144. 山崎正志, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 橋本光宏, 国府田正雄, 大河昭彦, 高橋和久. 後縦靭帯骨化症に伴う脊髄症急性増悪および脊髄障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の治療効果. 難治性疾患克服研究事業 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 平成 22 年度第 2 回班会議. 2010 年 11 月 6 日 慶應義塾大学病院 新棟 11 階 東京都.
145. 飯島靖, 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓. 胸髄症の急性増悪をきたした 30 歳台前半発症の脊柱靭帯骨化症の 1 例. 第 1212 回千葉医学会整形外科例会. 2010 年 12 月 18-19 日 千葉大学医学部附属病院 第一講堂 千葉市.
146. 輪湖靖, 高橋宏, 橋本光宏, 佐久間毅, 加藤啓, 大河昭彦, 山崎正志. 胸椎脊柱靭帯骨化症に胸髄硬膜内髄外腫瘍を併し下肢麻痺を呈した 1 例. 第 1212 回千葉医学会整形外科例会. 2010 年 12 月 18-19 日 千葉大学医学部附属病院 第一講堂 千葉市.
147. 大河昭彦, 山崎正志, 橋本光宏, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓. 整形外科疾患との鑑別が困難であった脊髄炎症例の検討. 第 12 回圧迫性脊髄症研究会. 2011 年 1 月 22 日 東京医科歯科大学 医科 B 棟 東京.
148. 山崎正志. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いた神経保護療法:エビデンスの確立をめざした臨床試験. 平成 22 年度厚生労働科学研究費研究成果等普及啓発事業 医療技術実用化総合研究 臨床研究推進研究研究成果発表会. 2011 年 2 月 24 日 シェーンバツハ・サボー 東京都. 抄録集 p131-2.
149. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 加藤啓, 国府田正雄, 橋本将行, 高橋和久. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子 CG-CSF)を用いた神経保護療法 第二報. 第 10 回日本再生医療学会総会. 2011 年 3 月 1-2 日 京王プラザホテル 東京. 再生医療 10 suppl: 238, 2011.
150. 高橋宏, 国府田正雄, 橋本将行, 橋本光宏, 佐久間毅, 加藤啓, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. マウス脊髄損傷モデルに対する G-CSF 動因末梢血幹細胞移植の治療効果. 第 10 回日本再生医療学会総会. 2011 年 3 月 1-2 日 京王プラザホテル 東京. 再生医療 10 suppl: 238, 2011.
151. Hashimoto M, Mochizuki M, Aiba A, Okawa A, Sakuma T, Takahashi H, Kato K, Takahashi K, Yamazaki M. C5 palsy following anterior decompression and spinal fusion for cervical degenerative diseases. 第 85 回日本整形外科学会学術総会. 2011 年 5 月 12-15 日 パシフィ

- コ横浜 横浜市. 日整会誌 85(2):S148, 2011.
152. Yamazaki M, Okawa A, Sakuma T, Takahashi H, Koto K, Hashimoto M, Koda M, Takahashi K. Anomalous vertebral artery at the craniovertebral junction detected by 3-D CT angiography: analysis on the 100 consecutive operative cases. 第 85 回日本整形外科学会学術総会. 2011 年 5 月 12-15 日 パシフィコ横浜 横浜市. 日整会誌 85(3):S382, 2011.
153. 鴨田博人, 大鳥精司, 江口和, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 井上玄, 山崎正志, 高橋和久. 当科においてリネゾリドを使用した 30 症例の検討. 第 85 回日本整形外科学会学術総会. 2011 年 5 月 12-15 日 パシフィコ横浜 横浜市. 日整会誌 85(3):S761, 2011.
154. 江口和, 大鳥精司, 山崎正志, 国吉一樹, 井上玄, 折田純久, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 榊田喜正, 高橋和久. 拡散強調 MR neurography による頸神経根症および腕神経叢損傷の評価. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):473, 2011.
155. 新靱正明, 政木豊, 佐久間詳浩, 大河昭彦, 山崎正志. 多椎間頸椎前方除圧固定術における前方椎弓根スクリューを用いた移植骨脱転予防: 臨床成績と CT での骨癒合評価. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):498, 2011.
156. 清水純人, 染谷幸男, 新靱正明, 山崎正志. 頸椎前方椎弓根スクリューと mesh cage を用いた多椎間頸椎前方除圧固定術. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):497, 2011.
157. 国府田正雄, 林浩一, 藤由崇之, 橋本将行, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. 慢性期脊髄損傷に対する活性化マクロファージ移植の効果. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):510, 2011.
158. 神谷光史郎, 藤由崇之, 川辺純子, 林浩一, 古矢丈雄, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志. 頸椎後縦靱帯骨化症における単純 X 線と CT を用いた骨化型分類の評価の検討. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):533, 2011.
159. 佐久間毅, 山崎正志, 国府田正雄, 加藤啓, 高橋宏, 古矢丈雄, 橋本将行, 橋本光宏, 大河昭彦, 高橋和久. 圧迫性脊髄症の急性増悪期に顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)投与による神経保護療法: Phase I-IIa 臨床試験. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):539, 2011.
160. 橋本光宏, 山崎正志, 大河昭彦, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 高橋和久, 望月真人. 頸椎多椎間前方除圧固定術の長期成績. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):576, 2011.
161. 望月真人, 相庭温臣, 門田領, 橋本光宏, 山崎正志. 頸椎後縦靱帯骨化症に対する前方骨化巣摘出固定術の成績. 第 40 回日本脊椎脊髄病学会. 2010 年 4 月 21-23 日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):578, 2011.
162. 松本守雄, 辻崇, 千葉一裕, 戸山芳昭,

- 筑田博陸, 竹下克志, 加藤剛, 進藤重雄, 鑑邦芳, 高畑雅彦, 野原裕, 種市洋, 富田勝郎, 川原範夫, 今釜史郎, 若尾典充, 松山幸弘, 山崎正志, 大河昭彦. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する各種固定術の成績: 多施設後ろ向き研究. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):590, 2011.
163. 江口和, 大鳥精司, 山崎正志, 国吉一樹, 井上玄, 折田純久, 鴨田博人, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 梶田喜正, 高橋和久. 拡散強調MRIを用いた腰部神経根障害の経時的評価. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):623, 2011.
164. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 橋本光宏, 佐久間毅, 加藤啓, 国府田正雄, 橋本将行, 高橋和久. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法: Phase I-IIa 臨床試験第二報. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):631, 2011.
165. 加藤啓, 山崎正志, 佐久間毅, 高橋宏, 橋本光宏, 林浩一, 古矢丈雄, 橋本将行, 国府田正雄, 大河昭彦, 高橋和久. 脊髄障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の効果: 臨床試験例での解析. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):636, 2011.
166. 高橋宏, 国府田正雄, 橋本将行, 橋本光宏, 佐久間毅, 加藤啓, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. マウス脊髄損傷モデルに対するG-CSF動因末梢血幹細胞移植の治療効果. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):698, 2011.
167. 古矢丈雄, 池田修, 常泉吉一, 国司俊, 葛城穰, 大田光俊, 大井利夫, 高橋和久, 山崎正志. 骨粗鬆症性椎体圧迫骨折に対する軟性コルセット治療. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):705, 2011.
168. 鴨田博人, 大鳥精司, 江口和, 新井玄, 石川哲大, 宮城正行, 鈴木都, 佐久間詳浩, 久保田剛, 及川泰宏, 井上玄, 大河昭彦, 山崎正志, 高橋和久. 当科においてリネゾリドを使用した脊椎感染症例3の検討. 第40回日本脊椎脊髄病学会. 2010年4月21-23日 京王プラザホテル 東京都. J Spine Res 2(3):720, 2011.

H. 知的財産権の出願・登録状況

本研究について、本年度は特許取得や実用新案登録はない。